

MEDICAL ASSOCIATION REPORT

● 県医師会 ●

理事会記事

第二十四回常任理事会

(平成十二年十二月二十六日)

真田会長挨拶

二〇〇〇年最後の常任理事会を開催します。本日は田邊副会長には病が癒え、元気なお姿でご出席、大変嬉しく思っております。どうか無理をなさらぬようお願いいたします。

この一年間の会務諸事業は、大ホームランもありませんでしたが、大エラーもなく、確実なヒットで進展して参りましたのは、会員各位のご支援と、役員皆様のご精進のお蔭だと深く感謝いたしております。

政治的にも経済的にも、社会環境は厳しいは

かりでした。しかし、皆様の明るさが、何よりのよりどころでありました。

新世紀も絶えず明るく、希望を抱いて、前進のためのご尽力をお願いし、ご挨拶に代えさせていただきます。

一、報告事項

真田会長

十二月十九日、第十回日医理事会在開催され出席。報告事項六件、協議事項は、「日医医療賠償保険」制度検討委員会(プロジェクト)の設置及び委員委嘱の件など六件、監事報告があった。

十二月十九日、日医理事会のあと第四回日医総研将来構想検討会が開かれ、日医総研を内部のまま(現状維持)とした意見が多くあったが、将来的展望として外部設置の日医のシンクタンク部門にすべきではとの私見を述べてきた。

十二月二十日、パレスホテルで第四回医療政策会議が開かれ出席。池上直己慶大医学部教授からの講演「市場と医療経済」を聴いた後、質疑応答、自由討論をした。

十二月二十五日、千代田区内幸町のレストランキャッスルで、厚生省の原子爆弾被爆者医

通知の訂正について

日本医師会保険医療課

平成12年12月21日付けでご連絡申し上げました「日医発第864号(保151)健康保険法等の一部改正について」の本文中に下記のような誤りがありましたので、訂正いただきますようお願い申し上げます。なお、訂正部分を修正した本資料を日医ホームページに掲載する予定ですので、よろしく願います。

記

〔1ページ 本文下から8行目〕

(誤)平成12年12月18日付で

(正)平成12年12月15日付で

〔3ページ 本文上から8行目〕

(誤)結核対象患者負担分 6,000円×5%=150円

(正)結核対象患者負担分 3,000円×5%=150円

療審議会(医療部会)が開かれ出席、小西訴訟大阪高裁判決の報告 原爆疾病の認定審査三四件を議題とした。

尚、当審議会は省庁再編のため、一月六日からは厚生労働省の健康局に所属し、厚生科学審議会の中での分科会に様変わりする。

十二月二十二日、支払基金幹事会が開かれ、省庁再編に適応させるための「定款の一部変更」等を協議、承認した。

桑原副会長

十二月十九日、高島、碓井両日医執行委員共々、日本医師連盟執行委員会に出席。平成十一年度日医連収支決算を承認、平成十三年度日医連負担基準額を前年通りA1会員一人二万円と決定。来夏の第十九回参院選の後援会名簿獲得の現況報告ののち、特別会費として、A1会員一人当たり一百万円の拠出を願うことを決定した。

十二月二十二日、県庁で第三回広島県保健医療計画検討委員会(真田幸三委員長)が開かれ、医療機能調査の結果 二次保健医療機関の設定に関する基本的な考え方 第四次改正医療法の概要等を報告・協議事項とした。

十二月十八日、地对協地域医療情報化推進専門委員会(石川 澄委員長)作業部会が開かれ、「二十一世紀初頭の広島県の医療情報システムをどのように構築するか」等を協議した。

十二月二十一日、広仁会館で医療と倫理を考える会・広島第五回例会を開催。「障害者医療をめぐる倫理」の話題提供者は阿部野和彦氏ら先天性四肢障害児父母の会・広島支部、世話人は安田峯生広大医学部解剖学第一講座教授であつた。(追って本紙掲載予定)。

田邊副会長

社保医療担当者個別指導が、十二月十八日、二十一日、二十六日と実施された。健康保険法等一部改正説明会を開催。十二月十九日、広島県民文化センターふくやまで約五〇〇名、二十日はアステールプラザに約八〇〇名、二十二日は広島医師会館で約五〇〇名が参集した。

十二月二十二日、広島産業保健推進センターで「勤労者健康づくりネットワーク・広島」幹事会が開かれ、「最近の労働衛生行政」について、平櫛佳六広島労働局安全衛生課長からの説明を受け、「職場における労働者の心

医療時事ニユース

- ・ 社説 生殖医療拡大へ生命の畏敬を基盤に 12・19 中国
- ・ 医療現場でいま 改革への模索 12・19 産経
- ・ 心筋梗塞患者 喫煙続けると死亡率4倍に 12・19 中国
- ・ 学会で発表 拒食・過食症で診療網 厚生省方針 専門医不足、整備へ 12・19 中国
- ・ 乳幼児のがん「神経芽腫」 検診の有効性に異論 12・20 毎日
- ・ 厚生省 来月、新システム インフルエンザ発生状況すぐ分かる 12・20 中国
- ・ 広島県医師会・中国新聞社主催の「健康セミナー」(大濱紘三広大医学部長、栗栖 薫広大脳神経外科教授) 12・21 中国
- ・ 広島大医学部 先端機器20種余 遺伝子診断施設が完成 12・21 中国
- ・ である アイバンクと献眼(日谷博光) 12・21 中国
- ・ 老人医療費減、あて外れ 診療報酬支払基金 借入枠五、四〇〇億円増 12・22 朝日
- ・ 空きベットなど情報入力怠る 周産期医療ネット、広島県の6病院 12・22 中国
- ・ 社説 世紀のページをめくる前に 高齢者へ 病院よりも温泉に行こう 12・23 毎日
- ・ 医学の陰、ひしめく命 無許可飼育10超す 鉄のおり 子ザルも詰め込まれ 12・24 朝日
- ・ 血圧急変意識失う 中高年に多い入浴中 12・24 中国
- ・ 二〇〇一年度予算 政府案決定 社会保障 医療保険改革が急務 12・25 全紙
- ・ 壊れた臓器回復、未来の技術「再生医療」の夢着々 12・25 朝日
- ・ 正論「安楽死」法案に追随する必要はない 早く死ぬことより安らかな死を(水野肇) 12・25 産経

の健康づくりのための指針」等を協議した。

横山 常任理事

十二月二十一日、広島医学編集委員会を開き、『広島医学』54巻2号の編集をした。

新本 常任理事

十二月十九日、臨床検査精度管理調査小委員会を開き、第二十八回広島県臨床検査精度管理調査 第二十回広島県臨床検査精度管理向上研修会につき協議した。向上研修会開催日は、一月二十八日(日)午後一時半より五時まで広島医師会館で開催と決定(本号別掲)。

新田 常任理事

十二月十六日、日医会館で平成十二年度家族計画・母体保護法指導者講習会が開催され出席。坪井日医会長の特別講演「日本医師会の医療改革論」に次いで、シンポジウム「産婦人科と小児科の連携 出生前小児保健事業を中心として」が行われた。十二月十五日、第三回全国禁煙指導研究会実行委員会が開かれ、プログラム概要、協賛金、広報等を議題とした。

十二月十九日、地对協在宅緩和ケアシステム部会が開かれ、呉・竹原地对協の準備状況在宅緩和ケア実施基準検討票等について議題した。

広島県感染症発生動向月報(平成十二年十二月解析分)について(前号既報)。

梶川 常任理事

医事紛争関係について。

横殿 常任理事

十二月二十日、第十回広報・情報委員会を開催し、速報のデジタル化 ホームページ 地域医療情報モデル事業 以上の進捗状況と今後の方針につき協議、投稿原稿の採否、書評の執筆担当等を決めた。

十二月二十一日、第十一回日医広報委員会が開かれ出席、一月五日・二十日号日医ニュースの企画・編集に携わった。

一、協議事項

- (1) 市郡地区医師会主催学会の日医生涯教育講座への認定申請について。一八件承認。

平成十二年度版

『国民医療年鑑』

発売のご案内

拝啓、国民医療年鑑につきましては、毎度高配をいただき、厚く御礼申し上げます。平成十一年度版も何卒、貴会傘下の会員への広報普及にご尽力いただければ幸いです。なお、ご注文のお支払い条件は左記の通りとなります。 敬具

記

ご送付先	金額(一冊につき)
広島県医師会一括ご注文の場合	五、七六〇円 (税込送料含む)
右記以外のご指定の個別発送の場合	六、三七〇円 (税込送料含む)

*税込定価 七、二〇〇円

広島県医師会注文先

総務課 現金又は引き取り可

TEL 〇八二(二三三)七二一一

FAX 〇八二(二九三)三三六三

直接ご注文先

株式会社 春秋社 営業部(担当 山口)

〒一〇一 〇〇二二

東京都千代田区外神田二一八六

TEL 〇三(三三五)九六一一

FAX 〇三(三三五)一三八四

郵便振替 〇〇一八〇六一四八六一